

発達障害

### 相談体制の充実を

#### 小学校と幼・保の連携

小一プログラムと発達障害への対応については、志免南小学校の取り組みの実際と調査の研究。幼保小連絡協議会を設置し、校区内の幼稚園、保育園との連携。情報交流、個別指導の実施、必要に応じた訪問が行われている。各小学校で、それぞれ取り組みはなされている

が、相談体制の充実と、教育委員が一体となった取り組みを要請した。

#### 2学期制の検証

メリット、デメリットはあるが、大きな効果として、年間計画が立てやすく、継続的な学習への取り組みで、学力は上っているとのことである。

しかしデメリット解消への努力と、保護者への理解を深めることが大切であると指摘している。

#### 行財政再構築プラン

平成23年度からの3年間にやらなければならない事業(学校施設の整備、保育園の改築など)に照準を合わせる財政計画に取り組む。志免町の身の丈、およそ90億円の予算について理解して頂く取り組みが大事であると指摘。



▲南小5年生と南保育園児の交流

## 厚生常任委員会



▲移転が待たれる志免保育園

### どうなる志免保育園

#### 保育行政について

4案が提示された。内容はこれからの審査となるが、現在の園舎と同じ広さをメインパーク内に確保し建設、その後解体する案について、公園の区域変更を伴い、都市計画法で閲覧や公聴会が必要となり、12月広報、ホームページに掲載する。

#### 未就学児の子育て支援

シーメイト内の「にじいろぼけっと」のあり方を検証。スタッフを配置したがいいのかわりか等を調査するため、須恵町と宇美町を視察することとした。

#### 医療制度改革と健康づくり

特定健診・特定保健指導

では受診率25・7%と低い状況であり、未受診559人にアンケートをとり、回答率は36・1%で、理由は病院受診中や申し込み忘れ、行く時間がなかったなどで、その対応をする。アンケート結果を生かし、受診率アップに取り組むよう要望。あらゆる機会をとらえ、啓発を行うよう提言している。

#### 障害福祉

手話通訳派遣事業は21年度窓口での利用が月平均延べ80人、実人数18人で、派遣の場合町内は窓口手話通訳者1人が出かけて行っている。町外は県の連合会が対応。役場窓口には1人の設置で派遣で出かけた場合に利用ができない。コミュニケーション事業は地域生活支援事業の必須事業であり、23年度に予算要求したいとのことである。以前より要請していた障害者就労支援セミナーの開催を今年度中に実施するよう再度要請した。

## 委員会報告 (調査・研究)

# 町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

## 建設常任委員会

#### 下水道事業

### 特別会計から企業会計へ

#### 下水道事業

#### 上水道事業

公営企業への法適用について、資料収集の整理、資産評価、条例、規則等の作業を終え、新年度予算の作成にとりかかっている。今議会に条例改正案を提出する。

これから冬季渇水期に入るため、11月26日より筑後川水系の取水制限が行われている。自己水源の御笠川、宇美川の水位も低下状況にあるが、取水に支障はない。現在福岡水道企業団からの受水日量4400ト

#### 内水対策

東区関係で、南里水路の上流部の橋脚のコンクリート撤去工事に着手。豪雨時に宇美川から逆流していた南里3町内会の久保田橋下流の逆流防止水門設置工事が完了。



▲久保田橋下流逆流防止工事

## 議会運営委員会

### 議会報告会実施を

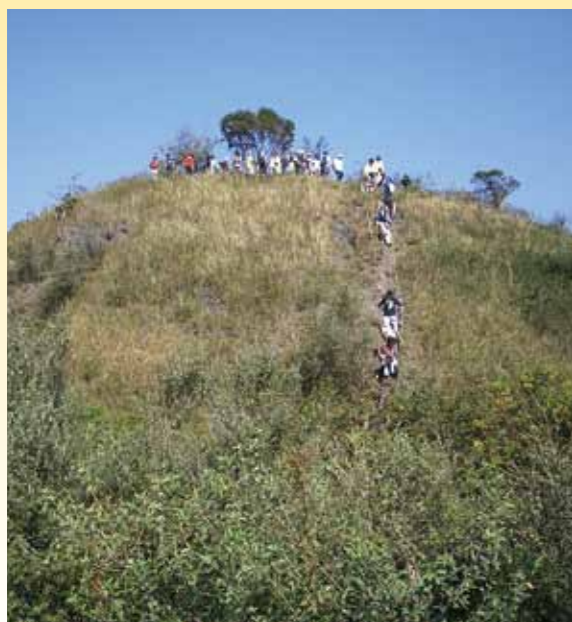
#### 答申

9月議会で議会基本条例が制定され、その中の議会報告会を今年度中に1回実施すべきと答申した。定数削減の請願が提出された。この請願については議長を除く全員による特別委員会を設置することにした。

## 志鉦跡地対策特別委員会

### ぼた山開発プロジェクト設置提案

現在3町ぼた山開発推進協議会総会において、当委員会より、ぼた山開発に向けたプロジェクトチームの設置を提案。早期に実施するよう担当課に要請している。



▲自然型活用で協議が進むぼた山

## 福岡都市圏広域行政調査特別委員会

### 地域活性化へつなげ

空港問題について問題点の整理、地域の活性化につなげていくための協議などを町長間でしっかりと行ない、必要な事案については、積極的に国・県に提言する事を執行部へ申し入れる。